

令和4年度 顔の見える関係づくり交流会レポート

<交流会の目的>

- ・お互いに顔の見える関係づくりを行う。
- ・多（他）職種の相互理解を深め、実際の連携につなげることができる。
- ・互いの専門性、所属機関における、役割や視点、困りごと等の違いを理解し、利用者（患者）を支援する共通目標を達成するための連携を考える。
- ・日常の支援の中で、本人の「想い」に気づくこと（意識化）。
- ・本人から聞いた「想い」をチームで共有する（共有化）。

<内容>

テーマ：「日常の療養における意思決定支援～ACPを考える～」

1 開会あいさつ

甲府市長 樋口雄一

2 話題提供「日常の療養における意思決定支援～ACPを考える～」

甲府共立病院 患者サポートセンター 平田理先生

4 座談会

「話題提供を聞いてそれぞれの立場で何ができるのか」

5 グループ発表

6 全体の感想



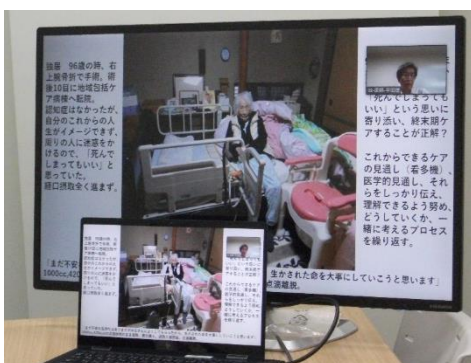
話題提供 平田理先生

<参加者数・職種>

102名

医師、歯科医師、看護師、ケアマネジャー、介護福祉士、保健師、薬剤師、社会福祉士、医療ソーシャルワーカー、生活相談員、訪問看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士、ヘルパー、介護事業所管理者

<日常の療養における意思決定支援～ACPを考える～>



概要

- ・コロナ禍で顕在化した ACP をめぐる倫理的課題
- ・そもそも ACP とは
- ・ACP の価値と課題
- ・日本版 ACP の問題点
- ・事例紹介
- ・多職種協働と全員参加型による Shared Decision Making

<グループワーク発表>

G2（田宮由実介護事業所管理者） G5（丹澤千晶看護師） 8G（横澤香菜絵保健師）

G11（桂川謙祐言語聴覚士） G14（中込眞由美ケアマネジャー） 19G（浅川愛作業療法士）

[ACP 現場での課題・難しさ]

- 本人の思いよりも、キーパーソンである家族の思いに偏ってしまう傾向がある。
- 本人の意向と家族の意向に相違が生じた時の対応。
- ACP の話題を切り出すタイミング。
- 急変時や既に認知機能の低下により、自分の意思を伝えることが困難な方の意思決定支援。
- 急性期等、限られた時間の中での本人の意思確認。
- 独居や高齢者世帯で、家族が同居していない場合に、家族を踏まえた ACP を話し合える機会が作りにくい。
- 高齢者、認知症だからと選択肢を狭めていないか、注意が必要。
- 選択肢が提示できるよう、選択肢を把握していることが必要。

[感想・今後の取組み]

- 家族の思いに偏らず、本人の思いを汲みながら支援する。
- 日頃から本人の思いを意識して聞く。
- 関係者で日頃から本人の思いを共有する。
- 想いは揺らぐものなので、繰り返し話し合い積み重ねる。
- 情報共有するための、ノート、ICT（しんげんネット）等の活用。
- 病院と地域に移行する時には、ADL だけではなく、ACP の情報も加えて伝える。
- 日常の変化の記録、重要なキーワードの記録、事前指示書等を記載。
- 各専門性を高め、予後予測の視点が大切。
- 利用者に選択肢を提案できるように、支援者側が選択肢を知る。
- ACP の普及啓発が、家族のグリーフケアにもつながる。
- 一定の年齢になったら、自分が望む医療・ケア等について考える習慣を普及啓発する。



進行役 中央ほうかつ 井上さん

<感想一部抜粋>

- ・ACP について深く考えるきっかけとなった。高齢者の状況を見て、治療の選択を狭めていないか考えたい。
- ・参加した後の充実感があります。職種や場面により ACP に関する内容も学ぶことが多かった。
- ・救命救急現場の話ではその手前の医療・介護でできることを実践しなければと思いました。
- ・たくさんの職種の方の顔がみえてよかった。
- ・医師の参加がありとても意味があった。介護職だけでは取り組めない意味ある勉強になった。
- ・医療と介護の壁は、まだあると日々感じるが、お互いの業務の中で、もっと連携が取りやすくなるとよい。
- ・交流会以降の具体的な連携の仕組みづくりが必要だと思う。
- ・地域の医院との関係づくりや意見交換をする機会を作ってほしい。
- ・オンラインによる開催は気軽に参加できる。

- ・コロナ禍で難しいと思うが、対面での交流会でカフェ的な交流があるとよい。
- ・交流会を甲府市以外の自治体にも広げてほしい。
- ・甲府市の在宅医等、医師からの意見をたくさん聞きたい。
- ・具体的に取り組めるよう内容で少人数や地域での連携が取れるような体制づくりをしてほしい。

<希望する話題>

- ・病院同士の連携や看護師同士の連携
- ・医療、介護の診療報酬についてそれに伴う取組み
- ・認知症の方を地域で支える
- ・困っていることについてざくばらんに意見交換を行い、多職種が何に困っていることを知る。
- ・介護支援現場で直面する経済的な問題とその解決方法について教えてほしい
- ・ACP の第 2 弾。効果的な地域連携の在り方。
- ・BCP についてどのように取組むべきか考えたい
- ・入退院場面を例に互いの業務に関する速度感、一人に対して対応できる時間軸を理解し合える研修
- ・リハビリ後の運動方法についての技術提供

等